

先端モビリティ工学研究室

卒業・修了生の皆様、お元気でお過ごしでしょうか。

先端モビリティ工学研究室 (Laboratory of Advanced Mobility and Transportation Engineering) は、2026年度、吉井教授、高橋准教授、中沢事務補助員のスタッフにて活動を行っています。学生は2026年4月8日時点で、博士課程4名(留学生1名を含む)、修士・学部学生17名が在籍しており、学生とスタッフ合わせて計24名となっています。

研究内容としては、交通流や交通マネジメントに関する研究、事故リスク解析などの研究、さらには、運転・道路環境のマネジメントやドライバの周辺認知、各種装置の受容性などに関する研究を進めています。また、これらの研究領域の高度化に向けて、画像・映像を含むセンサデータ等の解析、Augmented RealityやVirtual Realityを導入した手法構築、これらによる道路管理のためのデジタルツイン構築などを積極的に進めています。

今後も交通工学研究会、自動車技術会、土木計画学研究発表会など、国内学会への参加や、国際会議 (TRB や EASTS、ICCE-TW、GCCE、ICCE など) への積極的な参加を予定しているなど、引き続き学生・スタッフ一同、活発に研究活動を行います。より充実した研究室活動となるよう、毎週のゼミ以外のイベントも企画できたらと考えています。

研究室・実験室は、土木工学研究棟とN棟 (N119) にあります。お近くにお越しの際には、是非お立ち寄りください。